

# Ⅲ生命（いのち）の 安全教育

## 「プライベートゾーン」

### 「体の距離感・心の距離感」

#### 【低・中学年の主なねらい】

自分と他の人の大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を理解できるようにするとともに、大切なところを守るルールを理解できるようにする。

自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このような場面が起こったときの対応方法を身に付けることができるようにする。

1年生：自分に関すること

2年生：自分と友達に関すること

3年生：学校の中や地域での対応

4年生：第二性徴との関わり・  
体の変化の違い

5年生：学校の中や地域での  
体の距離感や心の距離感

6年生：SNSで見えない相手  
とつながる危険性

#### 【高学年の主なねらい】

心と体には距離感があるという認識を身に付け、他の人の気持ちを尊重した意思決定と行動選択ができるようにする。

距離感が守られないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。

SNSで見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択ができるようにする。

#### 【指導の工夫】

- ・絵本「教えて！くもくん」の読み聞かせを取り入れ、児童に関心をもたせる。
- ・「断る・逃げる・相談する」の対処法を知らせる。

#### 【指導の工夫】

- ・市民プールや銭湯、公園など、地域の場所や施設を例に取り上げ、児童の視点を広げる。
- ・保健「第二性徴」の学習内容に関連させて、カリキュラム・マネジメントする。

#### 【指導の工夫】

- ・文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」から SNS におけるトラブル事例を取り上げ、具体的な対処法を考えさせる。

## 生命(いのち)の安全教育 「じぶんも ともだちも まもろう」

### 1 題材の目標(安全に関する内容のつながり)

- ・自分の体は自分だけのものであり、自分の体の大切な部分に気付き、見せたり、触らせたりしてはいけないことを意識できるようにする。
- ・自分の心や体が守られていないと感じたときの対処方法を考えることができるようにする。
- ・自分と他の人を大切にする態度を養う。

### 2 学習指導要領との関連

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

本題材は、児童を性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないための素地を養うものである。

第一学年では、生活の中で大人に抱きついたり、友達同士で接触したりする場面が多く見られる。人との距離感が分からず、相手が嫌がる身体的接触をしてしまったり、その接触を拒めなかったりする児童もいる。

自分が「見せたくない」「触らせたくない」体の部分を考えるを通して、「プライベートゾーン」について正しく理解し、自分の体を大切にする気持ちを育てていく。また、なぜ他人に気軽に触ったり、自分の体を触らせたりしてはいけないのかを考えさせ、様々な場面における自分の身の守り方を考え、日常的に自分と相手の体を守るための行動を意識させていく。

### 4 研究の視点

- ・プライベートゾーンについて知り、その大切さを理解する。(命を守る)
- ・自分の体、友達の体についてお互いに配慮し、自分たちの身を守ることができるようにする。(命を守る)
- ・事前・事後で生命の安全教育について家庭に通知し、 家庭との連携を図る。(人とつながる)

### 5 指導計画(2時間)

| 時 | ○主な学習活動                                                    | ◎指導上の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                     |
|---|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | ○「プライベートゾーン」について知り、自他のプライベートゾーンを見せたり見ようとしたりしてはいけないことを理解する。 | ◎男の子と女の子のイラストを用いて自分だけの大切なところについて理解させる。<br>☆自分の体も他の人の体も大切であることを理解できるようにする。<br>■自分と他の人の大切なところである「プライベートゾーン」を理解する。(発言・記述)                                                                                    |
| 2 | ○着替えを見られたときや触れられて嫌な気持ちになったとき、「見せて」と言われたときの対処方法を話し合う。       | ◎問題が起きそうな場面を想起させ、「プライベートゾーン」をどのように守ればよいのか考えさせる。<br>☆自分の体を触られてびっくりしたり、嫌な気持ちになったりする場面について考えさせる。<br>■自分の体を見られたり触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このようなことが起こったときの対応方法を考えている。(発言・記述)<br>■自分と友達を大切にするための行動を考えようとしている。(発言) |

## 6 本時の展開( 1/2 )

### (1)ねらい

- ・自分だけの大切なところ(「プライベートゾーン」)について知る。
- ・自分の体は自分だけの大切なものであり、相手の体も大切であることを理解する。

### (2)本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                           | ◎教科の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ○プールに水着で入る理由や意味を考え、本時のめあてを知る。                                                                  | ◎自分の体を守るための学習であることをおさえる。                                                             |
| じぶんの からだについてかんがえよう。                                                                            |                                                                                      |
| ○体には「見られたくない・触られたくない」部分があることを知り、体の大切にしなければいけない部分について考える。                                       | ☆体のイラストの描かれたワークシートを用いて個人で考える。<br>※シールを4枚配り、ワークシートに貼っていく。理由も書く。                       |
| ○ワークシートをもとに、ペアで、友達と考えを伝え合う。                                                                    | ☆「見られたくない・触られたくない」と感じる体の部分には、人によって様々な考えがあることを知る。表現できる児童は理由も話す。                       |
| ○「見られたくない・触られたくない」部分を発表し合い、全体で確認する。                                                            | ■体の大切な部分について積極的に考え、伝え合っている。(発言・記述)                                                   |
| ○「おしえて！くもくん」の読み聞かせを聞く。「プライベートゾーン」について知り、体の大切にしなければいけない部分について理解する。                              | ■体の大切な部分(「プライベートゾーン」)の意味と場所を理解している。(発言・記述)<br>※読み聞かせは指導内容と関連するプライベートゾーンについての部分までとする。 |
| ○「見られない」「触られない」ために、日常生活の中で気を付ける必要がある場面を考える。                                                    | ☆学校生活以外の場面も想起させる。<br>(トイレ、着替え、風呂など)                                                  |
| ○本時の学習をふり返る<br>・体の大切な部分「プライベートゾーン」<br>・「プライベートゾーン」は自分にとっても友達にとっても大切な部分であること。<br>・自分の体を大切にすること。 | ☆本時で学んだことを確認し、プライベートゾーンという言葉と意味をおさえる。                                                |
| ○次時のめあてにつなげる。                                                                                  | ☆日常生活の中でのやり取りを紹介し、体のことで嫌な思いをする人がいなくなるための行動について考えていくことを伝える。                           |

## 本時の展開（ 2 / 2 ）

### (1)ねらい

自分の心や体が守られていないと感じたときの対処方法を考えることができる。

### (2)本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ◎指導上の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○前時の学習をふり返る。<br>・自分の体のプライベートゾーンは大切なところである。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ◎自分も他の人の体も大切であることを確認する。<br>☆プライベートゾーンを見られたり触らせたりすると嫌な気持ちになる人が多かったことをふり返る。                                                                                                                                                                         |
| じぶんと ともだちを たいせつにするために どうしたらよいか かんがえよう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ○互いが嫌な気持ちになってしまう「見る・触る」「見られる・触られる」が起きそうな場面を出し合う。<br>・体育で着替えるとき。<br>・トイレに行くとき。<br>・休み時間で遊んでいるとき。<br>○体育で着替えているときに、互いが嫌な気持ちにならないようにするにはどのようにしたらよいか考える。<br>・プライベートゾーンを見せない。<br>・着替えをじっと見ない。<br>・プライベートゾーンを触らない。<br>○休み時間で遊んでいるときなどに、触られて嫌な気持ちにならないようにするにはどのようにしたらよいか考える。<br>・「嫌だ」「やめて」とはっきり言う。<br>・大人に相談する。<br>・すぐ離れる。<br>・「嫌だ」「やめて」と言われたら、やめる。<br>・プライベートゾーンを触らない。<br>○トイレなどで誰かが、プライベートゾーンを見ようとしてきたらどのような対処をするか考える。<br>・「嫌だ」「やめて」とはっきり言う。<br>・見せない。<br>・大人に相談する。<br>・困っている友達を見付けたら、代わりに大人に相談する。<br><br>○学習をふり返る。<br>・嫌だとはっきり言う。<br>・困ったら大人に相談する。<br>・相手が嫌な気持ちになることはしない。 | ☆自分の体を触られてびっくりしたり、嫌な気持ちになったりする場面について考えさせる。<br>◎自分を大切にするためにすることと、友達を大切にすることが分かりやすくなるようにわけて板書する。<br><br>■自分の体を見られたり、触られたりして自分が嫌な気持ちになる場面が起こったときの対応方法を考えている。(発言・記述)<br>■自分と友達を大切にするための行動を考えようとしている。(発言)<br><br><br>☆自分や友達の体と心を大切にするための行動について改めて確認する。 |

## 生命(いのち)の安全教育「じぶんも ともだちも まもろう」

### 1 題材の目標(安全に関する内容とのつながり)

- ・自分の体は自分だけのものであり、自分の体の大切な部分に気付き、見せたり、触らせたりしてはいけないことを意識できるようにする。
- ・自分の心や体が守られていないと感じたときの対処方法を考えることができるようにする。
- ・自分と他の人を大切にする態度を養う。

### 2 学習指導要領との関連

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

本題材は、児童を性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないための素地を養うものである。

第2学年では、発達段階として無意識に生活の中で大人に抱きついたり、友達同士で接触したりすることが比較的多く見られる。第1学年で「プライベートゾーン」について学習し、着替えやトイレの場面などで自分の体を守る方法について学んだ。水泳の学習時も、上手に着替えようと工夫する姿も見られた。一方、まだ幼さも残り、遊びの延長で追いかけてこをしたり、友達の体をくすぐってしまったりすることもある。

本単元では、友達同士のプライベートゾーンに関わるトラブル場面を想定して、対処方法を考えさせる。「断る」「逃げる」「信頼できる大人に話す」の三点を徹底することが、自分の大切な心と体を守ることにつながることを理解させる。さらに、登下校中や放課後など、身近な場面で起こりうる危険についても対処方法を考えさせることで、性暴力の被害に関する危険を予測し、回避する力を育てる。

### 4 研究の視点

- ・プライベートゾーンについて知り、その大切さを理解する。(命を守る)
- ・自分の体、友達の体についてお互いに配慮し、自分たちの身を守ることができるようにする。(命を守る)
- ・事前・事後で生命の安全教育について家庭に通知し、家庭との連携を図る。(人とつながる)

## 5 本時の展開（ 1／1 ）

### (1)ねらい

自分を大切にし、自分の体を見られたり、触られそうになったりして嫌な気持ちになったときの対処方法を考えることができるようにする。

### (2)本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎指導上の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○校内でふざけてズボンを下げられそうになったときにどのような気持ちになるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌だな。</li> <li>・プライベートゾーンなのにひどい。</li> </ul> <p>○既習事項である「プライベートゾーン」について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水着ゾーン、口など</li> </ul> <p>○本時のめあてをつかむ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>◎イラストを用いて場面を想像させる。</p> <p>☆ズボンを下げられたら、心が深く傷つくことをおさえる。</p> <p>☆自分の体はとても大切なものであり、「見られたくない、触られたくない」と感じる部分はプライベートゾーンであることを確かめ、水着の図を提示する。</p> <p>◎プライベートゾーンを守るための対処方法を学ぶことを伝え、途中、気分が悪くなるなど学習が困難な場合は申し出てよいことを伝える。</p>                                                                                                                       |
| <p>自分の心と体をまもるために どうしたらよいか考えよう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>○ズボンを下げられそうになったときの対処方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やめて」と言う。</li> <li>・周囲の友達に助けを求める。</li> <li>・先生や家の人に言う。</li> </ul> <p>○地域で危険に遭いそうな場面について、回避方法を考える。</p> <p>①下校中、知らない人に写真をとらせてほしいと頼まれた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに断る。</li> <li>・家の人に聞いてくると言う</li> <li>・友達に断わるように教える。</li> </ul> <p>②公園で、知らない人にひざの上に乗るように声をかけられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断る。</li> <li>・家の人を呼ぶ。</li> <li>・違う理由を言ってその場から離れる。</li> </ul> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体はとても大切。</li> <li>・誰でも「プライベートゾーン」は見せたり、触らせたりしない。</li> <li>・困ったら大人に相談する。</li> </ul> | <p>■危険回避ができる対処方法を考えている。(発言・記述)</p> <p>☆「プライベートゾーン」を見られそうになったときは、相手が誰であっても「強く断る。」「すぐに逃げる。」「信頼できる大人に相談する。」ことを伝える。</p> <p>◎声をかけられた子、また、それを見かけた友達の気持ちを想像して考えさせながら、対処方法を考えさせる。</p> <p>■危険回避ができる対処方法を考えている。(発言・記述)</p> <p>☆もしも、誘いにのってしまっても自分が悪いのではなく、相手が悪いこと、また、もし似たようなことがあったら、すぐに信頼できる大人に相談することを伝える。</p> <p>■危険と感じたときの対処方法を理解している。(発言、記述)</p> |

第3学年 特別活動:学級活動(生活安全)

## 生命(いのち)の安全教育「自分も相手も大切にしよう」

### 1 題材の目標(安全に関する内容のつながり)

体の大切な部分に気付き、自分と相手の体を守るための行動において大切なことについて理解できるようにする。

### 2 学習指導要領との関連

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

令和2年度文部科学省・内閣府が合同となり、「生命の安全教育」が作成された。「生命の安全教育」の趣旨は、性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者にさせないための教育であり、少しずつ男女差が生じ始める中学年の児童にとって重要な学習である。具体的には、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度などを、発達段階に応じて身に付けることを目指している。小学校の発達段階としては、「水着で隠れる部分は自分だけの大切なところ」、「相手の大切なところを見たり、触ったりしない」、「いやな触られ方をした場合の対応」等を題材とする。体育科の保健領域のねらいである、体の発育・発達に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考えるとともに、特別活動の「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」のねらいである、事件から身を守り安全に行動することを学ぶことで、性暴力被害から身を守る素地を養いたい。

### 4 研究の視点

- ・自他の心身について配慮したり、危険から身を守るための具体的な方法について考えたりする。(命を守る)
- ・日常生活の具体的な場面における適切な行動を考え、身近な環境を整える意識を高める。(環境に関わる)

## 5 本時の展開( 1/1 )

### (1)ねらい

校外における自分の体を守るための行動について、適切な対応について考えることができるようにする。

### (2)本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ◎教科の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○学校以外の場所で、自分の体に危険が起こりそうな場面を考える。</p> <p>①暗くなったときに、一人で歩いている場面</p> <p>②人気の無い公園で遊んでいる場面</p> <p>③公共のプールなどで着替える場面</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>◎授業の冒頭に、自分の体を守るための大切な学習であることをおさえる。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> 自分の大切な体を守るために、どうしたらよいか考えよう。 </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>○起こりそうな危険と、その対処方法について考える。</p> <p>①暗くなったときに、一人で歩いている場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者が後をつけてくる。</li> <li>・知らない人に声をかけられる。</li> <li>→なるべく明るい道を歩く。</li> <li>→知らない人が近づいてきたときは、適切な距離を確保する。</li> <li>→礼儀正しく断る。</li> <li>→大きな声を出す。</li> </ul> <p>②人気のない公園で遊んでいる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人に声をかけられる。</li> <li>→①と同様</li> </ul> <p>③公共のプールなどで着替える場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人にじろじろ見られる。</li> <li>・スマートフォンなどで写真を撮られる。</li> <li>→着替え方を工夫する。</li> <li>→いやなことははっきりと伝える。</li> </ul> | <p>☆「体の距離感」についておさえる。</p> <p>◎どの場面も身近に起こりうることとして考えられるようにする。</p> <p>◎ICT を活用して状況に応じた対処方法について共有できるようにする。</p> <p>☆相手を不快にしない、礼儀正しい断り方についても触れるようにする。</p> <p>☆不快に思った時、自分の意思表示を行ったり大人に相談したりすることが大切であることを確認する。</p> <p>■場に応じた、自分の体を守るための適切な行動について考えている。(ICT・発言)</p> |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のふりかえりを共有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>◎振り返りを ICT ツールで共有し、感想を伝え合う。</p> <p>■ 不快な思いをしったり危険を感じたりしたときの対処について理解している。(ICT・発言)</p> <p>■ 自分や相手の気持ちや体を大切にすることの必要性を感じている。(ICT・発言)</p>                                                                                                                   |

## 生命(いのち)の安全教育「自分も相手も大切にしよう」

### 1 題材の目標(安全に関する内容のつながり)

- ・体の大切な部分に気付き、自分と相手の体を守るための行動において大切なことについて理解できるようにする。

### 2 学習指導要領との関連

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

令和2年度文部科学省・内閣府が合同となり、「生命の安全教育」が作成された。「生命の安全教育」の趣旨は、性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者にさせないための教育であり、第二次性徴期を迎える4年生の児童にとって重要な学習である。本単元では、第二次性徴期を捉えた上でプライベートゾーンを扱う。低学年の頃とは違い、大人に近づく体を理解した上で、誰もが安全に安心して過ごすためにどうすればよいかを考えさせていく。さらに、起きてしまった場合の対処法にも触れていく。生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度などを、発達段階に応じて身に付けることを目指している。小学校の発達段階としては、「水着で隠れる部分は自分だけの大切なところ」、「相手の大切なところを見たり、触ったりしない」、「いやな触られ方をした場合の対応」等を題材とする。体育科の保健領域のねらいである、体の発育・発達に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考え、それを表現できるようにすることを基盤とし、水泳指導における安全指導として位置付ける。

### 4 研究の視点

- ・自他の心身について配慮したり、水の事故から身を守るための具体的な方法について考えたりする。  
(命を守る)
- ・日常生活の具体的な場面における適切な行動を考え、身近な環境を整える意識を高める。(環境に関わる)

### 5 指導計画(全3時間) ※1・2時は体育科で実施

| 時         | ○主な学習活動                              | ◎指導上の留意点 ■評価<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                |
|-----------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>(体育) | ○発達のしかたには個人差があることを理解し、自分と他の人の違いを考える。 | ◎発達のしかたには個人差があることをおさえる。<br>☆肯定的な視点で、自分と他の人との違いをおさえる。<br>■他の人との違いを肯定的に受け止めている。                                  |
| 2<br>(体育) | ○思春期に起こる男女の体の外見上の変化や、体の大切な部分について考える。 | ◎変化の起こる時期や起こり方は、個人差があることをおさえる。<br>☆文部科学省作成のスライド教材を活用し、いやな気持ちになる場面やプライベートゾーンをおさえる。<br>■体の大切な部分の言葉の意味と場所を理解している。 |
| 3<br>本時   | ○自分と相手の体を守るための行動について考える。             | ☆場面に応じた適切な行動が、自分だけでなく相手を守ることにもつながることをおさえる。<br>■体の大切な部分や言葉の意味について理解し、場に応じた適切な行動について考えている。                       |

## 6 本時の展開( 3/3 ) ※1・2時は体育科で実施

(1)ねらい

自分や相手の体を守るための適切な行動について考えることができる。

(2)本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎教科の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○前時を振り返る。</p> <p>○場面に応じた「いやな気持ち」を考える。(全体)</p> <p><b>着替える場面</b></p> <p>・触られる ・見たくないのに見せられた ・覗かれる</p> <p><b>水泳の授業の場面</b></p> <p>・じろじろ見られる ・体のことを言われる ・触られる</p> <p><b>日常生活での場面(トイレ遊び)</b></p> <p>・触られる ・抱きつかれる ・つきまとわれる</p> <p>・距離が近い ・体のことを言われる</p> <p>・トイレのときに見られる・目のやり場に困る服装がある</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="494 828 944 900" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">         自分にできることを考えよう。       </div> | <p>☆プライベートゾーンが自分の大切なところだということをおさえる。</p> <p>☆プライベートゾーンは人によって違うことを伝える。</p> <p>◎既習事項の発達のしかたには個人差があることにふれる。</p> <p>☆「体の距離」や「心の距離」を念頭に置いて指導する。</p>                                           |
| <p>○場面に合わせて、自分が気を付けたいことを考える。(グループ)→交流する。(全体)</p> <p><b>着替える場面</b></p> <p>・すばやく着替える ・着替え終わったら静かに待つ</p> <p>・見たり触ったりしない</p> <p><b>水泳の授業の場面</b></p> <p>・じろじろ見ない ・体のことを言わない ・触らない</p> <p><b>日常生活での場面(トイレ、遊び)</b></p> <p>・触ったり抱きついたりしない ・人との距離を考える</p> <p>・服装に気を付ける</p> <p>○場面に合わせて、もしも起きてしまったら、どのように対処するかを考える。(全体)</p> <p><b>着替える場面</b> <b>水泳の授業の場面</b> <b>日常生活での場面</b></p> <p>・「いやだ」「やめて」と、自分の意思を伝える</p> <p>・先生や大人に相談する ・逃げる</p>                         | <p>☆プライベートゾーンを守るためにどのように行動したらよいのかを考えさせる。</p> <p>◎グループごとに、割り振られた場面の行動について考えさせる。</p> <p>☆異性の観点のみであれば、同性同士で気を付けることはないか考えるように促す。</p> <p>☆場面に応じた適切な行動が、自分だけでなく相手を守ることにもつながることに気付かせる。</p>     |
| <p>○本時の学習を振り返り、日常生活で生かせる場面や行動を考える。</p> <p><b>市民プール</b> <b>温泉</b> <b>放課後</b></p> <p>・すばやく着替える ・じろじろ見ない。</p> <p>・何かあれば、すぐに大人に相談する。</p> <p>○これから自分が気を付けていくことを考える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>☆予測して回避する能力を身に付けさせるために、学校内だけでないことを想起させる。</p> <p>☆学校内だけでなく、大勢(知らない人)がいる場面でも活用できることに気付かせる。</p> <p>◎これから気を付けていきたいことを共有する。</p> <p>■自分や相手の体を守るための適切な行動について考えることができている。【思・判・表①】(記述・発言)</p> |

## 生命(いのち)の安全教育「心と体の距離感」

### 1 題材の目標(安全に関する内容とのつながり)

- ・体にも心にも人との境界線があり、その距離間を守ることが、自分と相手を大切にすることであると理解すると共に、境界線を越えてくる人に対してどのように接すればよいか自分も相手に対してどう行動すべきか考え、対処できるようにする。

### 2 学習指導要領との関連

特別活動

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

令和2年度文部科学省・内閣府が合同となり、「生命の安全教育」が作成された。「生命の安全教育」の趣旨は、性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者にさせないための教育である。中学年では、プライベートゾーン「水着で隠れる部分は自分だけの大切なところ」、「相手の大切なところを見たり、触ったりしない」、「いやな思いをした場合の対応」等を題材として学習を進め、体育科の保健領域として体の発育・発達についても学んでいる。5学年では、体の距離感、心の距離感とは、どういうものなのかを理解した上で、自分の境界線、相手の境界線を守っていくことがお互いを尊重することであることに気付かせる。嫌な気持ちは、伝えて良いことや、自分も相手の心の距離感を越えてしまうことはないか気づかせていきたい。嫌な気持ちを伝える方法を考えることで、中学校でのデートDVと性暴力から自分の身を守る学習に繋げていきたい。また、保健の学習では、心の健康についても学習する。

### 4 研究の視点

- ・自他の心身について配慮したり、危険から身を守るための具体的な方法について考えたりする。(命を守る)
- ・日常生活の具体的な場面における適切な行動を考え、身近な環境を整える意識を高める。(環境に関わる)

### 5 本時の展開( 1/1 )

(1)ねらい

距離感を越えてくる人に対して、どうしたら良いか考える。自分も相手の境界線を越えていないか考える。

(2) 本時の展開

| (2) 本時の展開学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                             | ◎教科の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) アンケート結果から、人との体の距離感について、今の思いを知る。<br>○本時のめあてを確認する。                                                                                                                                                                     | ◎個人の情報や内容が結果からわからないよう配慮する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <div data-bbox="256 465 1334 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 60%;">           体と心の距離感について考えよう。         </div>                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>○体の距離感<br/>友達が大好きと抱きついてきた。</p> <p>抱きつかれた方の気持ちと抱きついた方の両方の気持ちを考える。</p> <p>○心の距離感<br/>友達が、不機嫌になっていて、自分まで落ち込んでしまった。<br/>心の距離間の問題はどこだろう。<br/>・不機嫌な気持ちを出していること。<br/>・相手までマイナスな気持ちにしてしまった。</p> <p>○心の距離感を守るために必要なことを考える。</p> | <p>☆体の距離感の違和感について考える。<br/>◎ワークシートに自分の考えを記入させる。<br/>・友達とくっついていたいという思いの児童と触れられたくないという思いの児童の気持ちを考えさせる。<br/>☆パーソナルスペースについて話をして一般的に言われる人との体の距離感を知ると共に、それぞれが決めてよい人との距離感を理解する。人との境界線</p> <p>◎ワークシートに自分の考えを記入させる。<br/>☆第一段階として、不機嫌な友達の気持ち・落ち込んでしまった自分の気持ちを考える。その後、どこに問題があるのか考える。<br/>◎ペアで交流して考えを深める。</p> <p>☆今までの生活の中で心の距離感を保てなかったことを考える。<br/>☆自分や相手の心の距離感を守るために必要なことを考える。<br/>◎班で交流して発表する。</p> |
| <p>○本時の学習を振り返る。<br/>・嫌だと思ふ気持ちを伝えたり、困ったときは、周りの大人に相談したり、伝えたりすることは悪いことではないことをおさえ、自分も相手の境界線を越えないことをおさえる。</p>                                                                                                                 | <p>◎ワークシートに振り返りを記入させる。<br/>■自分や相手の気持ちや体を大切にすることの必要性を感じている。(ワークシート)<br/>■自分が相手の距離感の境界線を越えてしまう点に理解している。(ワークシート)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 生命の安全教育「SNSを正しく使おう」

### 1 題材の目標（安全に関する内容のつながり）

- ・自分も他の人も大切するための心と体の距離感や、距離感が守られないときの対処法について理解できるようにする。
- ・SNS等のインターネット上で見えない相手とつながることの危険性について理解し、危険を回避したり、被害を防いだりできるようにする。

### 2 学習指導要領との関連

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

### 3 題材について

「生命（いのち）の安全教育」は、性犯罪・性暴力の根絶を目指し、子供を性暴力の当事者にならないための教育や啓発を行うことを趣旨としている。子供を、加害者にも、被害者にも、傍観者にもしないためには、生命の尊さに気付かせ、性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解させていくことが大切である。高学年になると、心も身体も成長が著しくなり、男女にも大きな違いが生まれてくる。このことから、自他を守るための心と体の距離感を知ることや、相手との対等な関係性を理解することがより重要になる。さらに、個人でスマートフォンを所持したり、パソコンを身近で使用できたりする児童が増えてくるため、インターネット上の掲示板やSNS等を介して見えない相手とつながる危険性についても理解していく必要がある。本題材では、日常生活場面における事例をもとに、自分と他の人を大切にするためのルールやマナーを考え、よりよい人間関係の在り方に気付かせることで、性暴力の加害者・被害者にならないための態度を身に付けられるようにする。また、SNSの危険性に関する事例等をもとに、性犯罪・性暴力の被害に遭いそうになったとき、もしくは被害に遭ったときの適切な対処の仕方や相談方法についても知ることで、危険を回避し、未然に防げるようにしていく。

### 4 研究の視点

- ・自他を守る距離感や相手との対等な関係性、SNS等に関する危険から身を守るための具体的な方法について理解する。（命を守る）
- ・生命の安全教育について家庭と情報を共有し、連携を図る。（人とつながる）

### 5 本時の展開（ 1／1 ）

(1)ねらい

- ・インターネットを介して見えない相手とつながる危険性について考え、危険を回避したり、被害を防いだりする方法を身に付ける。

(2) 本時の展開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ◎指導上の留意点 ■評価(評価方法)<br>☆安全教育の視点に立った留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○タブレットやスマートフォン等を利用して、これまでに危険だと感じたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用して、変なサイトに繋がってしまった。</li> <li>・オンラインゲームでトラブルになった。</li> <li>・SNS で知らない人からメッセージが来た。</li> </ul> <p>○本時のめあてを確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>◎児童のインターネットや SNS の利用状況を事前にアンケートで取り、具体的な事例をもとに話し合えるようにする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p style="text-align: center;">インターネットで知らない人とつながる危険について考えよう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>○相手からメッセージが送られてきたとき、どんなところに注意すればよいかを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①SNS の相手はどんな人か。</li> <li>②どんな相手とならやり取りを続けるか。</li> <li>③どんなポイントに気を付けるか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が本当に大丈夫な人かを確かめる。</li> <li>・情報が本当か分からないから、だれともやり取りすべきではない。</li> </ul> </li> </ol> <p>○事例を見て自分で対応できるトラブルかを考える。</p> <p>【発信相手】</p> <p>「クラスの知人」「自分の好きな人」<br/>「インターネットで知り合った人」</p> <p>【メッセージ内容】</p> <p>「顔写真を送って」「直接会いたい」<br/>「写真を送ってくれないと、秘密を拡散する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけで解決する。</li> <li>・相談しようか迷うと思う。</li> </ul> <p>○SNS上で知り合った人から誘われる場面の映像を視聴し、被害に遭わない方法や被害を小さくする方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「会うことはできない」ことを、はっきり伝える。</li> <li>・それ以上、連絡を取り合わないようにする。</li> <li>・おかしいと感じたら、すぐ相談する。</li> </ul> <p>○自分のこれからの行動を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌な時には、相手にはっきりと「嫌だ。」と言うようにする。</li> <li>・危険なことに近づかないようにして、いざという時には、身近な人に相談する。</li> </ul> | <p>◎SNS 東京ノート「相手の情報を考えてみよう」を用いて、どんな相手ならやりとりを続けても大丈夫か、根拠となる部分と理由を挙げて話し合うようにする。</p> <p>☆SNS には、プロフィールを偽っている人がいる可能性があるため、トラブルに遭わないようにするためには安易にやり取りしたり、自分の情報を公開したりしないことが大切であることをおさえる。</p> <p>◎ワークシートを用意して、それぞれの事例に自分ならばどのように対応するかを書き入れ、考えを整理してから交流させる。</p> <p>☆トラブルへの対応を間違えると、被害が拡大する可能性があるため、トラブルの被害を小さくするためには、日頃から困ったときの対応方法や相談する相手を考えておくことが大切であることを伝える。</p> <p>◎学習したことをもとに、起こり得るトラブルを想像しながら危険を回避したり、被害を防いだりする方法を考えられるようにする。</p> <p>☆文部科学省作成の動画教材を用いて、見えない相手とつながる事例を示し、SNS等から性暴力被害が起き得る危険性があることに気付かせる。</p> <p>☆インターネットや SNS 等を利用する際には、被害に遭わないようにすることと、トラブルの被害を小さくするようにすることの2つの視点を意識し、嫌だと感じた時には意思表示し、危険から離れることや安心できる大人に相談することが大切であることを確認する。</p> |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>■インターネットを介して見えない相手とつながる危険性や、危険を回避したり、被害を防いだりする方法を理解している。(記述)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |